

ご案内

日時：2017年9月3日（日）

13:30～16:30（13:00 受付・開場）

場所：京都大学旧演習林事務室 ラウンジ

（京都市左京区北白川追分町）

話題提供：高田 研一 氏（森林再生支援センター常務理事）



京の伝統を活かしつつ 自然の原理に沿った森づくりを

平成29年度 NPO法人森林再生支援センター 公開ワークショップ

開催趣旨

NPO法人森林再生支援センターは、2011年に「京都三山の森林景観保全のすすめ方」に関する検討委員会の事務局として京都の森の保全、森づくり、森林再生の指針づくりに参画しました。それから7年目となる本年3月に、「**自然と先人の知恵に学ぶ京の森づくり**」という長いタイトルのパンフレットが京都市から発行されました。このパンフレットは、東山、北山、西山の京都三山における最近10年間に及ぶ森づくりの実績を支えてきた「**自然配植**」という考え方の概要を取りまとめたものです。自然配植の理論といっても難しいものではありません。京都の木や土についての見方や森の育て方を拾い上げ、これを生態学や微生物学などの科学の視点から捉え直した成果に基づいています。

この自然配植による森（緑）づくりには、自然のとらえ方と森づくりの現場技術という二つの面でこれまででない考え方があります。

本ワークショップは、京の森づくりに関わってきた本センターの一里塚として、自然配植の考え方をあらためて参加者に投げかけ共有したいと考え企画しました。

まず自然配植の考え方を概観したあと、参加者それぞれが期待したいこれからの森のあり方について、少人数ごとに話し合っていたいただき、これをまとめて整理し直し、色々な方々の立場を踏まえた森のあり方場所ごとに異なる森の理想像、これを時間をかけても、無理なく進めるための方法について、ともに考えを深めたいと思います。

